

学校だより

大津市立葛川小中学校

平成28年1月号

3学期始動



新しい年を迎え、新鮮な気持ちで3学期のスタートが切れたのではないのでしょうか。2016年は、世界は、日本は、そして、私たち一人一人はどんな年を迎えるのでしょうか。少しの不安はあっても、希望と勇気があれば、その壁は間違いなく乗り越えて行けるでしょう。中学生が、今年一年の抱負を次のように漢字一文字に表しました。「挑」「来」「勝」「努」「書」「頑」「受」「合」「越」、ちなみに中学校の先生方は、「楽」「知」「見」「心」「挑」「広」を選びました。私は年男で、還暦を迎えます。自分なりに、区切りをつける年かなと思いつつ、迷いもいっぱい、そんな自分に活を入れるため、「猿も木から落ちる」と気を引き締め、「猿の尻笑い」とならないように、自分をしっかり見つめる時間を持ちたいと思います。

小中一緒に書き初め



今年も小中合同で書き初めをしました。新しい年を迎え、気持ちを込めて書きました。中学生が小学生に寄り添いながら、ペアになって書き進める姿がとても微笑ましく、また、迷いなく気持ちよく書く子どもたちの姿に、感心する教師も…。

小中学生全員で書きあげた共同作品「感謝」という字は、見れば見るほど味があります。人は一人前に成長するまでに、実に多くの人の親切や真心に支えられて生きています。そのありがたさを感じる気持ちが、「感謝」だと私は思うのですが、結構、言葉や態度に出して、相手に伝えることを忘れがちになっていないでしょうか。その時々、「ありがとう」、「おおきに」、「うれしいわ」など返せると、互いにとって潤いのある人間関係が育っていくと思います。



第3回KTふれあいの輪

今年で3回目を迎える『KTふれあいの輪』が、先日1月14日(木)、葛川支所で行われました。多くの地域の方に参加いただき大変盛り上げていただきました。ありがとうございました。午前中は、小5,6年と中学生による体験発表(平和学習、防災学習、職場体験学習、ゆるキャラ看板作成)を聞いていただきました。



小学1~4年生は、葛川健康推進協議会のみなさんのご指導をいただき、80人分のカレーを作りました。それを参加者のみなさんに昼食として食べて



いただきました。何人かのお代わりで、カレーはあっという間に底をつきましたが、「おいしかったよ」というお褒めの言葉をいただき、小学生も役に立てたという満足感を味わいました。午後からは、「地域の知名度をどのように上げるか」というテーマで、小5,6年生と中学生が、地域の大人の中に入って、四つのグループに分かれ話し合いが進みました。いざ話し合いに入ると、予定した流れと違う方向に話が進んだりして、司会役の中学生が悪戦苦闘する場面もありましたが、互いの地域を思う気持ちや考えが交流できたり、知名度を上げるための具体的な方法等についても意見が交換でき、充実した時間を共有できました。



- 参加者からは、次のような感想をいただきました。
- ・物おじすることなく、短い時間でまとめて発表する力に長けていると感心した。
 - ・自主的に物事に取り組んでいることがすばらしい。
 - ・発表を聞いて、学校での学習内容が身近になった。
 - ・自分たちの感じたことを上手に発表できていた。
 - ・生徒と話し、新たな気持ちで葛川を見直します。
 - ・とても楽しかった。これから、地域の発展に希望が持てます。
 - ・自分なりにできることを手伝っていきたい。
 - ・話し合ったことの実現に向けて、学校と地域が協力して進めていけたら良いと思う。
 - ・今まで話し合ったことを実行しているのがすごい。(防災マップ、ゆるキャラくかつざる、くたざる)